

「高齢化・市民活動部会」

第6回市民会議提出 マトリックス集計結果

は、重要と思う○印5個以上

	短期(すぐにも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)	
市民活動 (コミュニティ)	<p>自治会の会費、排雪費を払わないという課題への対応 ①</p> <p>自治会などの市民活動が周知されていない ①</p> <p>若い世代との交流が必要 ②</p> <p>除雪がきれいな地域の表彰制度 ①</p> <p>「愛のふれあい交流事業(社協)」が地域の親睦に繋がっている ①</p>	<p>ミニスーパーの整備 ⑥</p> <p>買い物用の巡回バスの運行 ⑤</p> <p>高齢者を中心に買物・通院・コミュニティ活動への足の確保(民間バス・送迎バスの活用) ⑦</p> <p>まちづくり支援事業で他団体との出会いの場の設定が必要 ③</p> <p>市民活動団体に人的余裕がない ②</p> <p>お金以外の部分で協働するためのコミュニケーションや連携が必要 ①</p> <p>市民活動団体では優秀なスタッフの報酬を確保できない ①</p>	<p>子ども世代を巻き込むような活動、世代が重なっていく活動が必要 ①</p> <p>高齢者と子どもが集える環境整備 ①</p> <p>3地区別な活動で市民全体のまとまりがあまりない ②</p> <p>3地区合同でイベントを行えば一体感が生まれ経費節減になる ④</p>	<p>老人クラブの超高齢化対策 ④</p> <p>市立病院の民間への売却 ④</p> <p>広汎性発達障害の専門家育成 ②</p> <p>市役所の仕組み、業務に詳しい市民活動のプロの育成 ④</p> <p>市民活動の子育て事業に市の職員を研修で活用 ③</p> <p>市民活動団体と市の若手職員が話し合う場の設定が必要 ⑥</p> <p>年寄りか生活していく上での利便性を維持するための対策が必要 ②</p> <p>子どもの医療体制(産婦人科、小児科等)の整備が必要 ④</p> <p>医療費補助の拡大(療育手帳日も対象に) ④</p> <p>優秀な医師の確保 ⑥</p> <p>往診診療の充実 ⑤</p> <p>市立病院の医療機器を当番制で市内開業医へ貸し出し ①</p>
ハード	<p>独居老人の見守りを自治会でどう対応していくか ④</p> <p>学校の空き教室を利用した高齢者が学べる場所の整備 ⑥</p>	<p>個人情報保護の壁を越えた自治会や民生委員の活動 ⑤</p> <p>自治会の役員のみならず手があらず、また若手が自治会に入りにくい ①</p> <p>自治会の役員のなり手があらず、また若手が自治会に入りにくい ①</p> <p>何かしたい人が気軽に集まれるコミュニティ広場の整備 ④</p>	<p>自立支援協議会へ担当者団体の参画が必要 ①</p> <p>盲導レールの充実 ①</p> <p>大塚、文京台地区から市立病院へ通うための運賃補助 ②</p> <p>発達障がい児が利用できるサービスや施設を提供する民間事業者の誘致 ①</p> <p>障がい者の就業場(会社)を作ってもらいたい ①</p> <p>在宅福祉において、介護保険制度外の必要なサービスを、江別独自の制度をつくる ⑤</p>	<p>江別で子供を産んで、育てたいと考える医療体制づくり ③</p> <p>周辺自治体から医療機関利用のために江別に来ている ②</p> <p>子どもの医療体制(産婦人科、小児科等)の整備が必要 ④</p> <p>福祉システムが充実すると、反面コミュニティが衰退することがある ④</p> <p>福祉事業を一つひとつ確実に実行することが必要 ②</p> <p>行政は市民ニーズを把握するため市民と一緒に考えることが必要 ②</p> <p>市にやってもらおうのが当たり前という市民意識を変えることが必要 ③</p> <p>個別診療科目をしっかり充実させることが必要 ①</p> <p>市民活動団体が問題を抱えているはずなのに相談がない ①</p> <p>市民ができないことを行政が補完するという考え方が必要 ①</p> <p>「大麻団地まちづくり」の具体化で、市の指導的役割が必要 ①</p>
障がい者 福祉	<p>健康診断の結果、お薬手帳の結果等をデータベース化し、予防医療に活かす(検診の補助等含め) ①</p>	<p>障がい者団体の情報交換や連携の場がない ②</p> <p>障がい者にも成年後見制度利用支援事業の取組みが必要 ②</p> <p>障がい者の就職相談支援 ③</p> <p>引きこもりの人たちの働きかけ ②</p> <p>小学校高学年以上の障がい児の放課後支援事業 ②</p>	<p>道立高等看護学校の誘致 ④</p> <p>障がい者の参加による市の福祉計画の策定 ②</p> <p>デイの送迎バスを利用し、学校の空き教室を使用し、みんなが集える環境を整備し、学校給食を提供する ⑧</p> <p>歩道に自転車や看板などの突出物があり危険 ①</p> <p>視覚障がい者に配慮したハード整備 ①</p> <p>歩道を自転車と歩行者に明確に区分 ①</p> <p>若者にも視覚障がい者のガイドヘルパーの講習費用を助成 ②</p> <p>「ときめいく」のように障がい者が活躍できる場の確保が必要 ①</p>	<p>江別で子供を産んで、育てたいと考える医療体制づくり ③</p> <p>周辺自治体から医療機関利用のために江別に来ている ②</p> <p>子どもの医療体制(産婦人科、小児科等)の整備が必要 ④</p> <p>医療費補助の拡大(療育手帳日も対象に) ④</p> <p>優秀な医師の確保 ⑥</p> <p>往診診療の充実 ⑤</p> <p>市立病院の医療機器を当番制で市内開業医へ貸し出し ①</p>
ソフト	<p>障がい者介護の充実 ⑥</p> <p>高齢者への学校給食の提供 ②</p> <p>介護予防のためのまろくみの健康増進(医療費削減)必要 ②</p> <p>単身高齢者が集まり、助け合える場づくり ③</p> <p>単身高齢者介護の充実 ③</p>	<p>道の送迎バスを利用し、学校の空き教室を使用し、みんなが集える環境を整備し、学校給食を提供する ⑧</p> <p>歩道に自転車や看板などの突出物があり危険 ①</p> <p>視覚障がい者に配慮したハード整備 ①</p> <p>歩道を自転車と歩行者に明確に区分 ①</p> <p>若者にも視覚障がい者のガイドヘルパーの講習費用を助成 ②</p> <p>「ときめいく」のように障がい者が活躍できる場の確保が必要 ①</p>	<p>道路、店舗、公園トイレのバリアフリー化による障がい者への配慮 ⑧</p> <p>道路、店舗、公園トイレのバリアフリー化による高齢者への配慮 ⑤</p> <p>目的音声標識ガイドシステムの導入 ⑤</p> <p>介護施設の整備、入居基準の柔軟化 ⑤</p>	<p>江別で子供を産んで、育てたいと考える医療体制づくり ③</p> <p>周辺自治体から医療機関利用のために江別に来ている ②</p> <p>子どもの医療体制(産婦人科、小児科等)の整備が必要 ④</p> <p>医療費補助の拡大(療育手帳日も対象に) ④</p> <p>優秀な医師の確保 ⑥</p> <p>往診診療の充実 ⑤</p> <p>市立病院の医療機器を当番制で市内開業医へ貸し出し ①</p>
元気なお年寄	<p>年をとっても一人で生活できるまちづくり ③</p> <p>地区単位や市全体で取り組むイルミネーションやアイスキャンドル ③</p> <p>サロンづくりの場所としてシャッター街を上手く活用 ②</p> <p>市民の10人に1人が学生という若い力の活用 ④</p> <p>学生を受け入れる受け皿が必要 ③</p> <p>大学の行事への市民参加 ②</p>	<p>高齢者クラブを通じてパワフルな高齢者が交流していて心強い ②</p> <p>パークゴルフやゲートボールを通じたコミュニケーション ③</p> <p>花を植える活動(学校含む) ②</p> <p>若い人の意見・力の活用 ④</p> <p>高齢者の大学利用 ④</p> <p>大学の行事への市民参加 ②</p>	<p>高齢者団体の色んな行事で市民が「交わる」ことが重要 ③</p> <p>高齢者の会合等の活動により街の活性化に貢献している ③</p> <p>地域のサロンづくり等が必要 ④</p> <p>主婦の意見・力の活用 ④</p> <p>若い人の意識の中で我がまちという意識が欠けているのが残念 ②</p> <p>4大学連携のコーディネーターがいらない ④</p>	<p>市にやってもらおうのが当たり前という市民意識を変えることが必要 ③</p> <p>個別診療科目をしっかり充実させることが必要 ①</p> <p>市民活動団体が問題を抱えているはずなのに相談がない ①</p> <p>市民ができないことを行政が補完するという考え方が必要 ①</p> <p>「大麻団地まちづくり」の具体化で、市の指導的役割が必要 ①</p>
若者(学生)から高齢者までのマンパワーを活かす持続性のあるシステムづくり	<p>市民の10人に1人が学生という若い力の活用 ④</p> <p>学生を受け入れる受け皿が必要 ③</p> <p>大学の行事への市民参加 ②</p>	<p>若い人の意見・力の活用 ④</p> <p>高齢者の大学利用 ④</p> <p>大学の行事への市民参加 ②</p>	<p>主婦の意見・力の活用 ④</p> <p>若い人の意識の中で我がまちという意識が欠けているのが残念 ②</p> <p>4大学連携のコーディネーターがいらない ④</p>	<p>市にやってもらおうのが当たり前という市民意識を変えることが必要 ③</p> <p>個別診療科目をしっかり充実させることが必要 ①</p> <p>市民活動団体が問題を抱えているはずなのに相談がない ①</p> <p>市民ができないことを行政が補完するという考え方が必要 ①</p> <p>「大麻団地まちづくり」の具体化で、市の指導的役割が必要 ①</p>
ハートづくり	<p>学生を受け入れる受け皿が必要 ③</p> <p>大学の行事への市民参加 ②</p>	<p>若い人の意識の中で我がまちという意識が欠けているのが残念 ②</p> <p>4大学連携のコーディネーターがいらない ④</p>	<p>高齢者が活躍できる(働ける)場づくり ⑤</p>	<p>市にやってもらおうのが当たり前という市民意識を変えることが必要 ③</p> <p>個別診療科目をしっかり充実させることが必要 ①</p> <p>市民活動団体が問題を抱えているはずなのに相談がない ①</p> <p>市民ができないことを行政が補完するという考え方が必要 ①</p> <p>「大麻団地まちづくり」の具体化で、市の指導的役割が必要 ①</p>

	短期(すぐにでも)				中期(5年程度)				長期(10年程度)	
ハード	学校の早急な耐震化 ⑧	職場内保育園の開設 ①	小中高大の連携、中高一貫校やコミュニティ立学校などの設置 ⑥	学生街特区といつのがあってもよいのではないか ⑧	地価を抑えて若年層にも購入しやすくする取り組みが必要 ②	市営住宅の改修による空室対策 ⑤	市内のバスの外装や停車ボタンの音などでえべちゅんを活用 ①	往診診療の実施(豊幌)	統廃合よりも学校を中心としたまちづくりのネットワーク構築 ②	
	老朽化した小中学校の耐震化、または建て替えを検討すべき ⑤	待機児童の解消 ④	保育園の利用時間の多様化 ③	共稼ぎの世帯でもきちんと子育てできる支援施設の増設 ⑤	《第5回追加》一時預かり事業で未満児を受け入れる保育所を増やすべき ②	ミニFM局の開設 ③	天気予報の気温が低く表示されるため観測地点を移動 ②	大麻地区の空き地、空き家対策が必要 ⑤	小学校の統廃合は江別駅周辺の開発と同時に一体的に行うことが必要 ②	
ソフト	《第5回追加》「子育て支援の街」を印象付けられる子どもたちの集えるシンボリックな建物 ①	認定こども園の増設が必要 ①	病児・病後保育の充実 ②	《第5回追加》市全体として統一して学童保育の時間を延長すべき ②	《第5回追加》児童会の定員拡大と学童保育自体の魅力の向上 ②	大麻地区の空き家対策 ③	札幌にない住環境の良さをさらに伸ばす ①	空き教室の有効活用による地域住民との交流 ④	進学学校が必要 ①	
	医療費負担の軽減 ③	放課後の教育環境の充実 ②	札幌で実施している保育ママの導入 ②	《第5回追加》子どもが安全に遊べるような公園の防犯対策 ③	転入者へ江別居住の理由を調査し、江別の長所を探る ③	大麻地区の高齢化対策 ①	大麻地区の少子高齢化対策が必要 ④	土日の予防接種の実施 ②	子どもと定住する場合の家賃無料化 ①	
【枠外】	働きながら子どもを産んで育てられる街 ⑤	《第5回追加》障がいの疑いのある子への支援体制について、わかりやすく紹介すべき ④	働いている母親をフォローするような行政の関わりが重要 ③	《第5回追加》学童保育の運営主体によって受入れ可能時間が異なり利用しにくい ③	《第5回追加》学童保育の運営主体によって受入れ可能時間が異なり利用しにくい ③	まち全体で何かに取り組み、その取り組みで江別をPR ①	札幌郊外より江別市の方が住みやすいと広報する ③	独自の取り組みで高校生の市外流出を防ぎ、市外から呼び込む ③	婚活イベントを開催し、結婚した人に手当を支給 ①	
【枠外】	大麻地区が将来消滅するのではないかという危機感が地元にある ①	《第5回追加》わかりやすい子育て支援情報を市民にもっと提供すべき ③	市長ブログなどによる政策の発信 ③	新聞、テレビでのPR ②	学校開放の利用窓口のPR ①	知られていない海外の都市との姉妹提携による江別のPR ①	市内の公園それぞれの特徴やトイレの様子をまとめたマップづくり ②	《第5回追加》札幌や道などの後追いはなく、江別の独自性のある子育て施策が必要 ③	札幌市に住んでいるという方が聞こえがよい ①	
ハートづくり	江別に住み始めた人への江別の地域情報の発信 ⑧	イベント、公共施設、大学開放などの情報の共有・ネットワーク化 ⑤	「江別」のブランドイメージをつくり、そのイメージを発信 ⑥	《第5回追加》「障がい児保育」ではなく「特別支援保育」と名称変更してはどうか ②	安全・安心なまちづくりを進め、江別の「安全」をPR ①	予防接種のような重要な情報は自治会回覧ではなく個別に情報発信 ①	小中学生の優れたスポーツ芸術活動の情報発信 ④	医療費助成の年齢の拡大 ①	優秀な人材の確保 ②	
	江別に住んでもらうための生活情報の発信 ④	市内イベント等の積極的な周知 ③	フェイスブック、ツイッターでのPR ③	《第5回追加》民間保育園へ保育士を加配 ②	情報発信源に情報図書館を活用 ①	《第5回追加》民間保育園へ保育士を加配 ②	《第5回追加》札幌市に劣るため、札幌に行ってしまうと江別に戻らない ①	教師の指導力の向上が必要 ①	子育て環境の充実に向けて、ただお金をつき込むだけでは駄目 ①	
【枠外】	子どもをいっぱい産んで育てたいと思うような街に ③	河川防災ステーションのネーミングを全国に募集し江別をPR ①	エベチゅんの歴史をれんがの歴史にあわせてつくり江別をPR ①	特認校である野幌小学校の特色を活用 ①	《第5回追加》学校の統廃合は子どもが困らないように配慮 ②	《第5回追加》学校の統廃合は子どもが困らないように配慮 ②	進学校が札幌に劣るため、札幌に行ってしまうと江別に戻らない ①			
【枠外】	大学生はアルバイト先がないため札幌に住む ①	安全・安心をテーマにしたシニアプロモートの実施 ①								

「環境・文化部会」

第6回市民会議提出 マトリックス集計結果

は、重要と思う○印5個以上

	短期(すぐにでも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)	
ハード	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの視点を取り入れた行政サービス 住宅街の自然環境の保全 大きな桜並木など今の環境をさらに良いものにし住民交流の場に整備 身近に憩える場所が必要 ごみの資源化、資源回収が普及しており、リサイクル率が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 文化施設の終日利用のため、周辺で食事ができる環境整備 施設設備にあたっての市民意向の把握 ごみ焼却場の熱、下水処理場のメタンガスを利用 スポーツ振興による健康管理で市の特色を 江別高校の跡地の有効活用 上水道、下水道料金が高く、水質が悪い 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光、風力、水力の活用 文化施設の充実が必要 環境先進都市の米国ポートランドを参考にしたまちづくり 市役所が分散し、かつ老朽化している エネルギーの地産地消 スポーツ施設の充実が必要 	
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> 業者のプラスチックリサイクルの徹底 市民会議意見の総合計画への反映 行政を監視する市民会議の設置 学生による環境学習ツアーのボランティアガイド ホームページの充実 野幌森林公園を利用した環境学習ツアーの実施 PMFの誘致 既存の公園の再整備による街中自然の保全・充実 公園周辺の環境を保全するルールづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ご当地マラソンを開催し、市民全員で応援 江別の歴史を学び、子どもたちに教える 職員が異動すると話がつながらなくなるため、引継をしっかりとすべき 市民ニーズの多様化にあわせた市役所の体制整備が必要 大麻中央公園や湯川公園をホテル舞う里にし自然環境都市をPR 市民が積極的にまちづくりに参加できる市民参加条例の制定が必要 「人が輝く共生のまち」というキャッチフレーズが分かりにくい 	<ul style="list-style-type: none"> 吹奏楽を学校に定着させるため専門の指導者を配置(楽器の提供) 有名人によるふるさと納税(大泉 洋等) 市の税収アップ 経済基盤の強化のため、重点分野の指針の明確化が必要 やきもの市を盛り立てる(セラミックアートセンターを利用) 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会長あてに総合計画の必要な資料が必要 雪のエネルギー活用 札幌より雪が多い 子育て支援、福祉サービス等に繋がる経済力のあるまちづくり 札幌に頼らない独自の行政 スポーツ振興会をつくり、指導者を育成して、各学校で指導 スポーツ振興のための指導者の育成 住民税の負担を軽くする 泥炭土の活用 北電サッカー場の「ノルブリック北海道」を市民が一丸となって応援
ハートづくり	<ul style="list-style-type: none"> 江別の良い所を探そう 「江別マダム」など市として一貫したイメージづくり きめ細やかな市民サービスの実施 市役所のワンストップサービス 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地開発の方向性の検討には住民と行政のコミュニケーションが必要 市役所のどこが窓口なのか不明確(たらいまわし) 市役所窓口のワンストップ化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 文化行政が弱い 市役所の中で情報共有がなされていない 屯田兵の歴史があるまちであることを知ってもらうことが必要 児童・生徒の学力の向上を目指すまち 都市と農村の調和のあるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ことなかれ主義の組織風土の改善が必要 芸術的な街をめざす 江別の自慢を言えるようにする

「安全・安心部会」

第6回市民会議提出 マトリックス集計結果

■ は、重要と思う○印4個以上

	短期(すぐにも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)
ハード	<p>中止できるのか</p> <p>6丁目踏切あとのアンダーパスの防犯対策が必要 ⑤</p> <p>障がい者に配慮した専用の避難所が必要 ②</p> <p>マンションやビルなど頑丈な建物と協定を結んで避難所として指定 ①</p> <p>幹線道路の除排雪(特に3番通) ③</p> <p>3番通の中央分離帯が雪山になって視界が悪く大変危険 ④</p> <p>文京台地区への消防車の配備</p> <p>マップに液状化現象がおきそうな場所を記載</p> <p>マップに食料や毛布の備蓄状況を記載 ⑤</p> <p>水害発生時の現実的な避難場所を記載(公園避難は非現実的) ①</p> <p>マップに建物の耐震強度、集中豪雨で浸水する場所を記載 ①</p> <p>備蓄資材の充実 ④</p> <p>一次救命の充実</p> <p>マップに活断層の情報を記載</p> <p>豊幌地区の洪水対策の充実 ②</p> <p>浸水の可能性が高い地域の避難体制と避難基準の明確化</p> <p>冬期間の災害に備えた避難所の暖房とトイレ ⑥</p> <p>公園は雪捨て場となるため冬期間は別な避難場所が必要 ⑥</p> <p>消防署との連携</p> <p>AEDの設置 ①</p> <p>マップに活断層の情報を記載</p> <p>地区の人口にあわせた避難所の設定が必要 ④</p> <p>小学校の空き教室を利用した防災資材の備蓄 ④</p> <p>避難所の早急な耐震化と現在の安全性の公表 ④</p> <p>要援護者へ防災無線を整備 ①</p> <p>高齢者に考慮した避難所の指定 ③</p> <p>高齢者が除雪している消火栓の対策</p>	<p>整備の充実 ①</p> <p>防犯機能付き街路灯の整備 ②</p> <p>子どもが安全に遊べるような公園の防犯対策 ③</p> <p>自転車道路の整備 自転車道路の活用の教育 ①</p>	
ソフト	<p>市民の相談にのってくれる課はあるのか? ①</p> <p>水害、インフルエンザ、竜巻</p> <p>災害の危険度に応じてサイレンの鳴らし方を工夫 ①</p> <p>災害時に自治会等の団体へ指示する組織を市役所内に設置 ③</p> <p>危機対策室の職員、民生委員の充実 ③</p>	<p>携帯等の不通に備えた掲示板などのアナログな通信手段の整備 ②</p> <p>個人情報の保護のため要援護者の情報が不足 ①</p> <p>災害発生時の避難方法などの手順の明確化 ②</p> <p>住んでいる地域の防災情報の周知、情報の共有化が必要 ⑤</p> <p>介護施設の避難には地域住民のサポートが必要 ①</p>	
ハートづくり	<p>災害時の支援のため日常での地域内のコミュニケーションが必要 ③</p> <p>災害情報の伝達にメール、インターネットを活用 ①</p> <p>高齢者や障がい者の個人情報を障がい者団体や自治会へ開示・共有すべき ④</p> <p>障がい者を含めた市全体での避難訓練が必要 ②</p> <p>札幌の住宅街の置き雪対策を参考とした取り組み</p>	<p>除雪 ①</p> <p>冬の災害に備えた除排雪 ⑤</p> <p>生活道路のきめ細やかな除排雪 ⑦</p> <p>歩行者のための歩道の除雪 ④</p> <p>除雪の時間帯の配慮</p> <p>高齢者の除雪作業は非常に大変 ②</p> <p>子どもの通学時等の雪山が危険 ①</p> <p>安心して冬道を歩くための生活道路、歩道の除雪 ①</p> <p>雪の少ないうちからこまめな除雪が必要</p> <p>歩道の両側の除雪が必要 ①</p> <p>夕張で行っている大学生の除雪の江別での実施 ①</p> <p>世田谷区から入植した歴史を踏まえた災害時の支援 ②</p>	

「まちづくり部会」

第6回市民会議提出 マトリックス集計結果

は、重要と思う○印5個以上

	短期(すぐにでも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)	
ハード	<p>江別駅前には市街地なのに商店が開いていない</p> <p>農協が撤退する江別駅周辺にスーパーが必要</p> <p>野幌駅構内への店舗誘致</p>	<p>江別駅の改築</p> <p>江別駅に市のコミュニティ会場を設置</p> <p>江別駅をサービス、病院、託児所などの複合施設として整備</p> <p>江別駅前に地産地消のレストラン街を整備</p> <p>高齢者と子どもと一緒に活動できる施設の整備</p> <p>道路、店舗、公園トイレのバリアフリー化</p> <p>中心街に学生の作品などを展示する美術館、アート通りを整備</p> <p>野幌駅高架下、駅前広場の活用</p> <p>駅に物産展や農作物を販売できる場所が必要</p> <p>江別駅前の農協が撤退すると買い物難民がでるため対策が必要</p> <p>買い物難民のための無料バス</p> <p>分断されていた野幌の地区をつなげて賑わいを創出</p>	<p>江別駅周辺にれんがを使った商品などを扱うやきもの街を整備</p> <p>江別駅周辺を住宅街として整備</p> <p>ギャラリーや休息スペースなど人が集まる場所の整備</p> <p>病院、保育所、大型書店、大型駐車場の整備・誘致</p> <p>交通網が東西だけで南北が未整備</p> <p>仕事帰りに利用できる飲食店を野幌駅高架下に誘致</p> <p>野幌駅周辺に商業施設の誘致</p> <p>路線の多様化、低床バス導入の支援</p> <p>市内循環バス、コミュニティバスの整備</p> <p>100円でどこでも乗れる循環バス</p> <p>温泉施設や自動車学校等の送迎バスの活用</p>	<p>歩行者も通行できる全天候型サイクリングロードの整備</p> <p>自転車で市内散策できるサイクリングロードの整備</p> <p>人を呼び込むためのサイクリングロードの整備</p> <p>未整備となっている生活道路の整備</p> <p>大麻地区から国道12号への連絡の不便さの解消</p> <p>市民1人1つれんがを焼き、街並みに活用</p> <p>公共交通機関の充実</p> <p>江別、野幌、大麻の地域ニーズにあわせてまちづくり</p> <p>豊幌地区の位置づけ</p>
ソフト	<p>野幌駅高架下、駅前広場の活用</p> <p>駅に物産展や農作物を販売できる場所が必要</p> <p>江別駅前の農協が撤退すると買い物難民がでるため対策が必要</p> <p>買い物難民のための無料バス</p>	<p>道路、店舗、公園トイレのバリアフリー化</p> <p>中心街に学生の作品などを展示する美術館、アート通りを整備</p> <p>野幌駅高架下、駅前広場の活用</p> <p>駅に物産展や農作物を販売できる場所が必要</p> <p>江別駅前の農協が撤退すると買い物難民がでるため対策が必要</p> <p>買い物難民のための無料バス</p> <p>分断されていた野幌の地区をつなげて賑わいを創出</p> <p>学生用のイベント、コンサート、展示などの多目的スペースの整備</p>	<p>江別駅周辺の開発は一ひとつではなく一体的な整備が必要</p> <p>駅と直結する大型店舗の誘致</p> <p>商店街の入った集合住宅を整備し、江別駅と地下道で直結</p> <p>JRによる交通の便がよいまち</p> <p>交通網が東西だけで南北が未整備</p> <p>仕事帰りに利用できる飲食店を野幌駅高架下に誘致</p> <p>野幌駅周辺に商業施設の誘致</p> <p>路線の多様化、低床バス導入の支援</p> <p>市内循環バス、コミュニティバスの整備</p> <p>100円でどこでも乗れる循環バス</p> <p>温泉施設や自動車学校等の送迎バスの活用</p> <p>交通</p> <p>江別駅周辺の活性化が必要</p> <p>駅周辺は公共施設整備よりも企業誘致が必要</p> <p>箱物ではない江別の顔が必要</p>	<p>歩行者も通行できる全天候型サイクリングロードの整備</p> <p>自転車で市内散策できるサイクリングロードの整備</p> <p>人を呼び込むためのサイクリングロードの整備</p> <p>未整備となっている生活道路の整備</p> <p>大麻地区から国道12号への連絡の不便さの解消</p> <p>市民1人1つれんがを焼き、街並みに活用</p> <p>公共交通機関の充実</p> <p>江別、野幌、大麻の地域ニーズにあわせてまちづくり</p> <p>豊幌地区の位置づけ</p> <p>【枠外】ソフト面でワンストップ化</p> <p>各地区ではなく、江別全体が一カ所にまとまれる場所の整備</p>
まちづくり	<p>都市と農村の調和のあるまち</p> <p>江別の強みを活かし財政負担が少ない市民協働のまちに</p> <p>学生が4年間地域とかかわりながら楽しく過ごせる街</p> <p>都会のよさの部分と都会ではないよさの部分があるまち</p>	<p>学生用のイベント、コンサート、展示などの多目的スペースの整備</p> <p>森林公園があり、公園が多く、大きな川がある緑のまち</p> <p>歩道を花で飾る</p> <p>他の自治体と競わず贅沢ではない真の豊かさを感じるまちに</p> <p>人を減らさないように住みやすいまちづくりが必要</p>	<p>江別駅周辺の開発は一ひとつではなく一体的な整備が必要</p> <p>駅と直結する大型店舗の誘致</p> <p>商店街の入った集合住宅を整備し、江別駅と地下道で直結</p> <p>JRによる交通の便がよいまち</p> <p>交通網が東西だけで南北が未整備</p> <p>仕事帰りに利用できる飲食店を野幌駅高架下に誘致</p> <p>野幌駅周辺に商業施設の誘致</p> <p>路線の多様化、低床バス導入の支援</p> <p>市内循環バス、コミュニティバスの整備</p> <p>100円でどこでも乗れる循環バス</p> <p>温泉施設や自動車学校等の送迎バスの活用</p> <p>交通</p> <p>江別駅周辺の活性化が必要</p> <p>駅周辺は公共施設整備よりも企業誘致が必要</p> <p>箱物ではない江別の顔が必要</p>	<p>歩行者も通行できる全天候型サイクリングロードの整備</p> <p>自転車で市内散策できるサイクリングロードの整備</p> <p>人を呼び込むためのサイクリングロードの整備</p> <p>未整備となっている生活道路の整備</p> <p>大麻地区から国道12号への連絡の不便さの解消</p> <p>市民1人1つれんがを焼き、街並みに活用</p> <p>公共交通機関の充実</p> <p>江別、野幌、大麻の地域ニーズにあわせてまちづくり</p> <p>豊幌地区の位置づけ</p> <p>【枠外】ソフト面でワンストップ化</p> <p>各地区ではなく、江別全体が一カ所にまとまれる場所の整備</p>

「地域産業部会」

第6回市民会議提出 マトリックス集計結果

は、重要と思う○印5個以上

	短期(すぐにも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)	
ハード	<p>おいしく安い野菜を活かし、農産物直売所を増やす ⑤</p> <p>れんが、ヤツメ、ウナギの活用 ③</p> <p>ホテルがみられる場所への標識整備 ③</p> <p>学生向きの店(飲み屋)が少ない ①</p> <p>まちコンをやる場所がない</p> <p>市外の人気が高い入浴施設の活用</p>	<p>冬に出荷するための貯蔵庫を整備 ②</p> <p>遊歩道などによる市内観光施設のルート化 ①</p> <p>河川防災ステーションの道の駅としての再整備 ①</p> <p>作物の世話を請け負うネットを利用した首都圏向けの貸し農園 ①</p> <p>市内の観光資源を巡る観光バスツアーの実施 ④</p> <p>防災ステーション近くに水遊び、スケートのできる親水公園を整備 ④</p> <p>泥炭を暖房に利用したハウスによる農業の通年化</p> <p>市営ライターハウスの整備 ①</p> <p>大型SC(アウトレットモール等)の誘致 ③</p> <p>高齡化を見据えた徒歩でも買い物しやすい街 ②</p> <p>農産物の貯蔵などへの冷熱エネルギーの活用 ③</p> <p>道の駅を整備し、江別産の食料、素材、エベチングスを販売 ⑥</p> <p>シャッター通りを逆手に取った有効活用(おはけ屋敷など)</p> <p>江別産の食料、素材、エベチングスを販売 ⑥</p> <p>道の駅を整備し、江別産の食料、素材、エベチングスを販売 ⑥</p> <p>シャッター通りを逆手に取った有効活用(おはけ屋敷など)</p> <p>シャッター通りを逆手に取った有効活用(おはけ屋敷など)</p>	<p>河川防災ステーションの道の駅としての再整備 ①</p> <p>防災ステーション近くに水遊び、スケートのできる親水公園を整備 ④</p> <p>高齡化を見据えた徒歩でも買い物しやすい街 ②</p> <p>行政主導の道の駅の整備 ①</p> <p>若者男女が集まることのできるイベントや交流の場、広場の設置 ①</p> <p>新しい工業団地の検討 ①</p> <p>物流が必要→事業者の協業 ④</p> <p>地域の物流ネットワーク構築 ⑧</p> <p>廃校舎や民家の宿泊利用 ②</p> <p>元気な高齡者が働ける場づくり ⑤</p> <p>大学卒業後の雇用の場づくり(例:介護施設) ③</p> <p>れんがを利用したデザイン性のある身近なものを商品化 ③</p> <p>河川防災ステーションの活用(親水空間、直売所など) ④</p> <p>地域バランスを考えた大型小売店の誘致 ①</p> <p>3つの河川を財産として有効活用 ①</p> <p>セラミックアートセンターの活用(アクセスの改善を含めて) ③</p> <p>EBE-1や江別ブランドを企業や他市にとらえない工夫 ①</p>	<p>湯川公園を道の駅として整備し、野菜や特産品などを販売 ①</p> <p>野幌森林公園の江別側からのアプローチ(大沢口)の整備 ①</p> <p>札幌競馬場の誘致 ①</p> <p>宿泊施設の整備 ①</p> <p>人を呼べる大きなイベントホールの整備 ①</p> <p>他市の人が訪れるような大型公園の整備 ①</p> <p>大型イベントを開催できるイベント会場の整備 ④</p> <p>桜や紅葉する街路樹を植樹し、食事のできる場所に整備 ②</p> <p>鉄道林南側への連続性のある桜の植樹 ①</p> <p>野幌駅から原始林まで行く道の整備 ①</p> <p>ヨットハーバーの整備 ①</p> <p>桜や紅葉する街路樹を植樹し、食事のできる場所に整備 ②</p>
ソフト	<p>積極的な企業誘致が必要 ①</p> <p>農産物直売所のPR ⑤</p> <p>野幌森林公園の豊富な自然の活用 ③</p> <p>市役所職員が江別の街中で飲食しなくなった ①</p> <p>札幌近郊でありながら田園風景がある環境の活用 ③</p> <p>野幌森林公園の木の生えていない場所へ市民参加による植林 ③</p> <p>野幌森林公園における野鳥の会の人などによる案内ボランティア ②</p> <p>巨大市場の札幌をターゲットにした農作物 ②</p> <p>市が主体となった営農指導体制 ②</p> <p>生協の誘致を活かした企業誘致 ①</p>	<p>歴史的施設の保全活用 ①</p> <p>江別スイーツとのコラボでやきもの市に若者を呼び込む ④</p> <p>農村地区の観光活用(フットパスなど) ①</p> <p>北海道有形文化財に指定された土偶の活用 ①</p> <p>有名な観光大使任命による市のPR ②</p> <p>新規就農の支援、法人化 ①</p> <p>新規就農を支援する会の発足 ②</p> <p>江別の農産物を使ったイベントの開催 ⑤</p> <p>市民が江別ブランドを理解して市外へ販売 ②</p> <p>スノーフェスティバルの魅力向上 ①</p> <p>江別スイーツのPR ②</p> <p>賞のよい農産物のPR ②</p> <p>酪農公社の牛乳、エゾ但馬牛の地元消費 ②</p> <p>エベつ出身の有名人を呼んだイベントの開催 ①</p> <p>美味しい店の情報などの観光マップを作成し、駅などに配置 ②</p> <p>野幌森林公園の活用 ①</p> <p>道立運動公園の活用 ①</p> <p>江別患経線に農産物直売所を整備 ①</p> <p>農産物のブランド化 ⑤</p> <p>平日の人口確保のため魅力となる拠点を探求 ④</p> <p>積極的な企業誘致が必要 ①</p>	<p>6次産業化によるブランド力、高付加価値の商品開発 ③</p> <p>石狩川の活用(雄大な流れが眺められる喫茶、カヌー体験など) ⑤</p> <p>石狩川の川下り体験や水運の歴史学習 ⑥</p> <p>いい意味でえこのいきでまちづくり会社の設立 ①</p> <p>市内の食料自給率を上げる取り組み ④</p> <p>EBE-1グランプリややきもの市の同時開催 ③</p> <p>中国などからのフィルムコミッションの誘致 ①</p> <p>EBE-1を定例化して江別産をPR ④</p> <p>学生の視点による観光プロジェクトの立ち上げ ③</p> <p>廃校舎や民家の宿泊利用 ②</p> <p>元気な高齡者が働ける場づくり ⑤</p> <p>大学卒業後の雇用の場づくり(例:介護施設) ③</p> <p>れんがを利用したデザイン性のある身近なものを商品化 ③</p> <p>河川防災ステーションの活用(親水空間、直売所など) ④</p> <p>地域バランスを考えた大型小売店の誘致 ①</p> <p>3つの河川を財産として有効活用 ①</p> <p>セラミックアートセンターの活用(アクセスの改善を含めて) ③</p> <p>EBE-1や江別ブランドを企業や他市にとらえない工夫 ①</p>	<p>野幌森林公園の江別側からのアプローチ(大沢口)の整備 ①</p> <p>札幌競馬場の誘致 ①</p> <p>宿泊施設の整備 ①</p> <p>人を呼べる大きなイベントホールの整備 ①</p> <p>他市の人が訪れるような大型公園の整備 ①</p> <p>大型イベントを開催できるイベント会場の整備 ④</p> <p>桜や紅葉する街路樹を植樹し、食事のできる場所に整備 ②</p> <p>鉄道林南側への連続性のある桜の植樹 ①</p> <p>野幌駅から原始林まで行く道の整備 ①</p> <p>ヨットハーバーの整備 ①</p> <p>桜や紅葉する街路樹を植樹し、食事のできる場所に整備 ②</p>
ネットワーク	<p>地元にお金が落ちる仕組み ⑤</p> <p>ネットワーキング型経済へ ⑥</p>	<p>商店街への消費者ニーズは? ①</p> <p>商業機能の維持 ①</p> <p>中小企業、商店のネットワーク ⑧</p>	<p>物流が必要→事業者の協業 ④</p> <p>地域の物流ネットワーク構築 ⑧</p>	<p>大型店誘致が重要</p>
ハートづくり	<p>市民目線の観光 ①</p> <p>企業と学生のマッチング ③</p> <p>農業の後継者対策 ②</p> <p>江別が誇る産業である農業を大切に ②</p>	<p>今ある地域資源の観光資源化 ⑥</p> <p>工場見学ツアー ④</p> <p>若い人を呼び込むための産業・企業が必要 ①</p>	<p>観光資源のネットワーク化 ⑤</p> <p>目玉となる新しい取り組み ③</p> <p>子育て世代の人たちが短時間でも働ける場所が必要 ①</p>	<p>若い人が安心して働ける街づくり ①</p> <p>道の駅を整備し、働く場をつくる</p>